

4 整理作業の状況

(1) 整理・刊行までの工程

平成 23 年度から平成 27 年度にかけて実施された豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業に伴う発掘調査について、今年度より報告書刊行に向けた整理作業を開始した。報告書の刊行は今後調査する予定の遺跡の整理を含め、平成 31 年度の予定である。

今年度は整理・報告・編集・刊行までの 5 か年におよぶ作業の 1 年目に当たり、遺物・遺構の整理作業、自然科学分析を実施した。

		27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
1 次整理	遺物注記	■■■■■		■■■■	■■■■	
	接合	■■■■■		■■■■■■■	■■■■	
	選別	■■■■■		■■■■■	■■■■	
	復元	■■■■■		■■■■■■■		
	実測		■■■■■■■	■■■■■	■■■■■	
2 次整理	遺構図整理	■■■■■	■■■■■■■		■■■■	
	遺構トレース		■■■■		■■■■	
	遺物トレース		■■■■■	■■■■■■■		
	写真撮影			■■	■■	
分 析	自然科学分析	■■■■■■■	■■■■■■■	■■■■■■■	■■■■■	
報告書	原稿執筆	■■■■■■■	■■■■■■■	■■■■■■■	■■■■■■■	
	図表			■■■■■■■	■■■■■■■	
	編集・校正				■■■■■■■	■■■■■■■
収 納	収納					■■■■

(2) 今年度の整理作業

ア 遺物整理

出土遺物のうち、遺跡の性格を知るうえで重要な石器・土器は選別し、実測の対象とした。また土器については接合を試み、脆弱なものについては復元を行なった。実測対象とした土器については、平成 28 年度に実測する予定である。

イ 業務委託

今年度の整理業務のうち石器の実測、自然科学分析については業務を外部に委託して実施した。

石器の実測は 698 点を対象に業務を外部に委託した。自然科学分析では土壌洗浄・火山灰分析について、業務を外部に委託した。土壌分析は微細な資料を得るとともに、今後の分析方針を決めるために、火山灰分析は、土壌の堆積時期を特定するためにそれぞれ実施した。

ウ 学識者の招聘

今年度は土器の編年・器種・産地について、3月8日に柴垣勇夫元愛知淑徳大学教授、藤澤良祐愛知学院大学教授の指導を受けた。



遺物の接合作業



遺物の復元作業



学識者の招聘



学識者の招聘

5 資料の保存管理

(1) 出土品の保存管理

調査センターでは、埋文センター及び調査センターが実施した発掘調査の出土品を保管管理している。調査センターの収蔵容量の関係で、利用頻度の低い出土品は、旧知多高等学校の建物を利用して分散収蔵している。

また、国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」2,028点も収蔵している。

[出土品の収蔵状況]

保管場所		収蔵遺物(箱)			備考
		土器・石器類	その他	計	
調査センター	収蔵庫 B	1,292	0	1,292	国指定重要文化財を含む。
	収蔵庫 D	10,309	0	10,309	
	特別収蔵庫	0	2,628	2,628	国指定重要文化財を含む。
	収蔵庫 E	0	2	2	大型木製品(点数)
	小計	11,601	2,630	14,231	
外部施設	旧知多高校	31,259	2,241	33,500	
合計		42,860	4,871	47,731	整理作業中の出土品を除く。

・特別収蔵庫は、環境変化の影響を受けやすい木器類・金属器類・骨角器類を恒温・恒湿(20℃・60%)で保管

(2) 出土品の市町村への譲与

出土品を地元で活用したいと希望する市町村に対しては、出土品の譲与を行っている。平成28年度の譲与件数は、ゼロであった。

平成27年度末現在の譲与実績(累計)は、8市1町に対し、78遺跡9,337箱である。

[譲与実績]

	市町村数	遺跡数	箱数
平成27年度末	8市1町	78	9,337
累計	8市1町	78	9,337

(3) 図書資料の管理

調査センターが管理する図書資料は、研究者だけでなく一般の閲覧希望にも対応している。図書収蔵状況は、下記のとおりである。

[図書収蔵状況(平成27年度末現在)]

蔵書数		94,913冊
(内訳)	調査報告書	65,077冊
	市町村史	1,065冊
	雑誌類	28,771冊

6 普及・啓発活動と研修

(1) 資料の貸出等

出土品の収蔵は調査センターが管理し、図面・写真などの記録類は埋文センターが管理している。平成27年度は出土品79件6,874点の貸出依頼、出土資料14件568点の撮影・掲載許可依頼があった。また、研究者や学生を中心に77件の資料調査依頼があった。

[主な出土品の貸出]

申請者（施設）	使用目的	貸出資料	点数	貸出期間
愛知県陶磁美術館	常設展示「あいち子ども考古学教室」	清洲城下町遺跡他 出土遺物	307	継続
豊明市歴史民俗資料室	常設展示	大脇城遺跡 出土遺物	3	継続
豊川市桜ヶ丘ミュージアム	常設展示	麻生田大橋遺跡 出土遺物	1	継続
瀬戸蔵ミュージアム	「戦国時代の瀬戸窯」	上品野西金地遺跡 他 出土遺物	120	10/27～ 2/12
大府市歴史民俗資料館	「発掘おおぶの遺跡」	別唄古窯他 出土遺物	15	7/9～10/2
下関市立考古博物館	「綾羅木遺跡とその時代—環濠集落 事始め—」	朝日遺跡 出土遺物	19	9/9～11/26
鈴鹿市考古博物館	「黄金に輝く」	清洲城下町遺跡 出土遺物	6	9/18～12/4
春日井市中央公民館	「詳説 勝川遺跡展」	勝川遺跡 出土遺物	40	9/24～11/13
中京大学	常設展示	清洲城下町遺跡 出土遺物	1	10/1～ 3/31
愛知県清洲貝殻山貝塚資料館	「朝日遺跡と木の道具」	朝日遺跡 出土遺物	21	10/9～11/27
瀬戸蔵ミュージアム	「戦国時代の瀬戸窯—古瀬戸から大 窯へ—」	上品野西金地遺跡他 出土 遺物	120	10/27～ 2/12
愛知県埋蔵文化財センター	考古学セミナーポスターセッション 展示「あいちの考古学」	西牧野遺跡 出土遺物	73	11/27～11/30
美浜町教育委員会	権六遺跡発掘調査報告展	権六遺跡 出土遺物	84	12/2～12/22
高浜市やきものの里かわら美術館	「安土・桃山の城郭革命—信長・秀 吉・家康と金箔瓦—」	清洲城下町遺跡他 出土遺 物	20	12/15～ 3/28
鈴鹿市考古博物館	「鹿—『鹿と古代人』その後—」	朝日遺跡他 出土遺物	15	1/12～ 3/18
愛知県陶磁美術館	常設展「もっと伝えたい、愛知のやき もの」	岩倉城遺跡他 出土遺物	42	2/13～ 3/31

[主な出土資料の撮影・掲載許可]

申請者（施設）	使用目的	許可資料	点数	許可日
テレビ愛知	テレビ撮影	清洲城下町遺跡 出土資料	5	4/10
		朝日遺跡他 出土資料	2	4/24
中日新聞社	中日新聞社会面掲載	昭和 20 年国宝移動等書類綴	2	5/12
(株) 新泉社	書籍「十二支の動物たちの考古学」	朝日遺跡 出土資料	1	6/ 4
愛知県総務部	愛知県史編さん	上品野西金地遺跡他 出土遺物	93	10/22
		西牧野遺跡他 出土資料	8	1/28
春日井市教育委員会	「詳説 勝川遺跡展」	勝川遺跡 出土資料	40	9/ 4
瀬戸市文化振興財団	「戦国時代の瀬戸窯—古瀬戸から大窯へ」	上品野西金地遺跡他 出土遺物	120	10/19
高浜市やきものの里美術館	「安土・桃山の城郭革命—信長・秀吉・家康と金箔瓦—」	清洲城下町遺跡他 出土資料	20	12/ 4
岡崎市教育委員会	公園看板への掲載	西牧野遺跡 出土資料	8	12/ 4
愛知県陶磁美術館	「もっと伝えたい、愛知のやきもの」	岩倉城遺跡他 出土資料	42	2/ 1

(2) 学校授業への協力

県内の学校からの依頼を受けて、郷土学習及び歴史教育の一環として調査センター職員が講師として学校に出向き、授業への協力を行った。平成 27 年度は小学校 2 校で 2 回、高等学校 2 校で 3 回、大学 2 校で 2 回の出前授業・体験学習を実施した。

[出前授業等の実施内容]

学校名	対象学年	内 容	実 施 日
豊田市立幸海小学校	6 年生	・朝日遺跡を題材とした弥生時代の生活について ・土器に触れる体験学習	4/18
知立市立知立東小学校	6 年生	・朝日遺跡を題材とした弥生時代の生活について ・土器に触れる体験学習	5/26
愛知東邦大学	1・2 年	・遺跡発掘調査の概要について ・土器を用いた体験学習の指導について	6/22
愛知県立天白高等学校	2 年生	・遺跡発掘調査の概要及び埋蔵文化財について	11/12
		・「煮炊き具の変遷について考える主題学習」他	11/13
中京大学	1・2 年	・遺跡発掘調査の概要及び埋蔵文化財について ・土器を用いた体験学習の指導について	12/16
愛知県立碧南高等学校	2 年生	・遺跡発掘調査の概要及び埋蔵文化財について ・「製塩土器の用途・使用場所について考える主題学習」	3/3

(3) 見学・研修の受入れ

調査センターでは、団体見学や職場体験学習などの受入れを行っている。平成 27 年度は、6 団体を受け入れた。また、豊田市下山地区において、発掘調査成果報告会を開催した。

[団体見学・職場体験・研修等の利用者数]

団体名	内 容	参加人数	実施日
愛知県立岡崎高等学校	施設見学、体験学習	19名	7/29
愛知県立犬山南高等学校	施設見学	2名	8/6
考古学サマーセミナー2015	施設見学、体験学習	12名	8/20
春日井市社会科教育研究会	施設見学	19名	8/27
豊山町教育委員会	施設見学	22名	9/8
愛知県公平委員会連合会	施設見学	58名	10/16

[発掘調査成果報告会]

遺 跡 名	内 容	参加者数	実施日
豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡	発掘調査の成果報告と出土遺物やパネルの展示	136名	2/14

(4) 埋蔵文化財調査研究会

県・市町村・関係団体の埋蔵文化財担当職員を対象に開催した。

- ・開催日 平成 27 年 7 月 3 日 (金)
- ・参加者 54 名
- ・内 容 主に平成 26 年度に実施された発掘調査の事例発表

[発表された遺跡と調査担当組織]

遺跡名等	所在地	調査担当組織
若宮遺跡	豊橋市	豊橋市教育委員会
豊田大塚古墳	豊田市	豊田市教育委員会
平岩城跡	岡崎市	岡崎市教育委員会
夕日窯 4 号窯	瀬戸市	瀬戸市文化振興財団
名古屋城本丸搦手馬出石垣・名古屋城二の丸庭園	名古屋市	名古屋市市民経済局名古屋城総合事務所
名古屋城西の丸	名古屋市	名古屋市教育委員会
設楽ダム関連遺跡	北設楽郡設楽町	埋文センター
豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡	豊田市	調査センター・埋文センター

(5) その他の活動

① 調査センターでの展示

資料管理閲覧室において見学者のための常設展示を行っている。また、春季及び秋季には、ロビーの展示ケースにおいて、国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の特別公開を実施した。

[調査センター見学者]

区 分		期間別見学・利用者数		見学・利用者数合計
常設展示期間	個 人	549名	736名	1,735名
	団 体	187名		
特別公開期間	個 人	999名	999名	
	団 体	0名		

[重要文化財特別公開]

イベント	実施日	内 容	来館者数
春の特別公開 2015	4/4(土)～19(日)	国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の展示 火おこし体験 *4/4(土)・5(日)のみ	928名
秋の特別公開 2015	10/30(金)～11/13(金)	国指定重要文化財「愛知県朝日遺跡出土品」の展示 豊田・岡崎地区研究開発施設用地造成事業関連遺跡 出土品の展示 拓本体験 *10/31(土)・11/1(日)のみ	73名

② 埋蔵文化財展

7月23日(土)から11月22日(土)まで調査センターにおいて『あいち考古楽市2014』を開催し、展示や講座、ワークショップ、バックヤードツアーなどのプログラムを実施した。(主催：(公財)愛知県教育・スポーツ振興財団)

③ Web ページ (アドレス：<http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html>)

愛知県公式 Web サイト内に開設した調査センターの Web ページで、事業内容、利用案内などとともに発掘調査報告や活動報告などの情報発信を行っている。

[Web の主な項目と更新回数]

項 目	内 容	更新回数	
発掘調査報告	調査センターが行っている発掘調査の情報等	10回	63回
整理作業報告	調査センターが行っている整理作業の情報等	8回	
活 動 報 告	発掘調査以外の活動情報(特別公開・見学会・出前授業などの実施報告等)	23回	
お 知 ら せ	調査センターが関わる展覧会の紹介や特別公開・見学会などの案内等	13回	
そ の 他	入札の結果、年報、過去の掲載記事等	9回	

7 施設の概要

(1) 設置時期

昭和 62 年 (1987 年) 12 月 1 日

(2) 施設規模

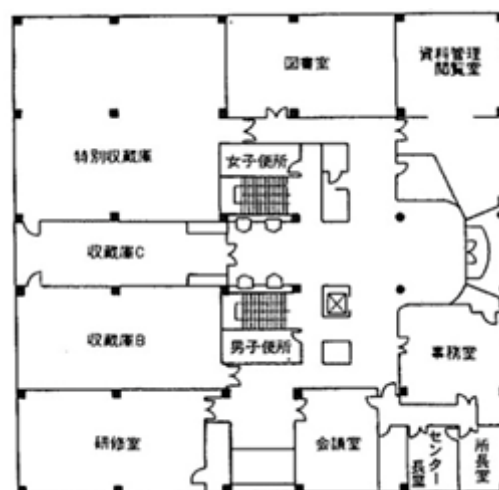
鉄筋コンクリート造 3 階建

延床面積 3,930.44 m² 敷地面積 3,300 m²

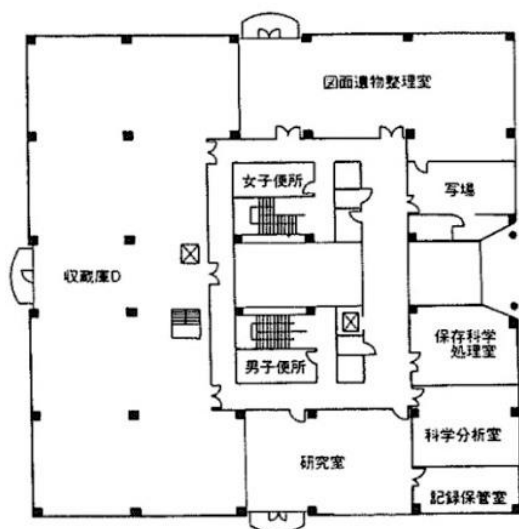
(3) 各階平面図



1階 1,124.45 m²



2階 1,391.45 m²



3階 1,326.81 m²

愛知県埋蔵文化財調査センター年報（平成 27 年度）

平成 28 年 3 月 31 日

編集・発行 愛知県埋蔵文化財調査センター

〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方 802-24

TEL 0567-67-4164 FAX 0567-65-1841

Email maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp